# 職務経歴書

2023 年 11 月 15 日現在
氏名：ワーク太郎

**■職務経歴概要**

大学院博士課程を卒業後、株式会社 AAAAAAA に入社 6 年間食品開発･企画部における自社商品向けの開発･企画に携わっておりました。市場調査、ブランディング、マネジメントなどにも携わっておりました。

**■得意とする経験・分野・スキル**

・幅広い食品、科学の知識
・市場調査、ブランディング、パッケージングの知識

**■会社履歴**

| 期間 | 会社名 |
|---|---|
| 20XX 年 XX 月～現在 | 株式会社 AAAAAAA |

**■職務経歴詳細**

**株式会社 AAAAAAA　　20XX 年 XX 月～現在**

事業内容：食品の製造販売
従業員数：●名
資本金：●万円

| 期間 | 業務内容 | 職位 |
|---|---|---|
| 20XX 年 XX 月<br>～<br>20XX 年 XX 月 | 東京本社　配属<br>新人研修 | |
| 20XX 年 XX 月<br>～<br>現在 | 【職務】<br>市場調査（マーケティング）、ブランディング、マネジメント<br><br>【職務詳細】<br>・市場調査<br>　・市場トレンド、競合情報収集<br>　・市場の適合性を調査し戦略の策定、<br><br>・製品開発マネージャー<br>　・開発プロジェクト全体を監督し予算、スケジュール、リソースの管理<br>　・チームメンバーの指導<br><br>・ブランディング、パッケージング<br>　・製品のブランディング戦略<br>　・パッケージング開発 | |

■PC スキル/テクニカルスキル
・TOEIC　xxx 点（20xx 年 xx 月取得）
・Word、Excel

■自己 PR
幅広い食品・科学分析から得た分析力

現在の主業務である商品の分析によって、様々な成分の知見を得るとともに課題に適したアプローチ方法を習得してきました。依頼分析では単なる要求されたデータの提出ではなく、依頼者との打ち合わせにより本質的な課題を見出し、解決策を提案していくことを常に意識し実践してきました。その結果として、事業部への社長指示での相談や、親会社で分析が困難と判断された案件が、分析グループに依頼される地盤を築くことができました。また、個人レベルでは研究開発部内のメンバーから解析手法や課題解決方法についての相談を日常的に受けており、これまで示してきた分析力が信頼されているためと考えております。使用する装置に依存する分析データではなく、課題解決に結びつけるための分析力は、分析対象が変わっても発揮できる重要なスキルだと考え、日々精進しています。

今後もさらなるキャリアアップを図っていきたいと考えております。
是非、面接の機会をいただければと思います。何卒よろしくお願い申し上げます。

以上